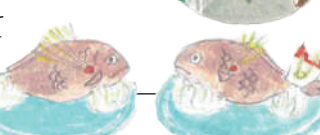


たむらには、代々続くその時々季節を大事にした行事がございます。各月の行事の一部をご紹介します。今日をゆっくりお過ごし頂き、次の機会は、たむらの行事を楽しみにお越し下さいませ。

たむらの年中行事

	行事名 (期間)	内 容	
一月	年越し (大晦日から元旦)	湯薬師神社で甘酒や豚汁を楽しみながらの年越しイベント。 カウントダウンで新年を皆さまと祝います。	
	お正月 (三が日)	朝食にお屠蘇をご用意します。 上毛かるた、ぬりえ用色鉛筆を貸し出いたします。 お客さま参加のイベントや、上毛かるた大会も！	
	(七日)	おなかにやさしい七草粥で健康を願います。	
	小正月 (十一日)	鏡開き	
	(十三日)	お繭玉飾り。蚕の繭に似せたお団子を 米粉で作し、神棚などに飾ります。	
	どんど焼き (十四日)	お正月の松飾りなどを燃やして無病息災を祈ります。 その火で焼いた繭玉を食べると、 一年を健康で過ごせると言われています。	
	鳥追い祭り (十四日)	江戸時代から続く、豊作を祈願する地元のお祭りです。 鳥追いの大きな太鼓の山車を引き回し、田村坂ものぼります。 玄関前で、お客さまも太鼓叩きにご参加いただけます。 ふるまい酒もございます。	
恵比寿講 (二十日)	朝恵比寿とも言われ、「鯛の尾頭付き」の料理をお供えし、 今年も一年、たくさんのお客さまを呼びに出かける 恵比寿様をお見送りします。		
二月	節分 (三日)	夕刻、玄関前にて厄除け・家内安全を祈願して お客さまとともに豆まきを行います。 〈福は内〉と先に福を呼ぶことと、福豆に炒った大豆と 落花生が入っているのがたむらの特徴です。	
	立春 (四日)	若水と福豆で淹れた福茶をお出しします。	
	バレンタインデー (十四日)	こころばかりのチョコのプレゼントいたします。	
三月	桃の節句 (三日)	二月初旬から、たむら代々のお雛さまを飾ります。 享保雛や御所人形などが、上段の間いっぱい並びます。 お雛さまやたむらの歴史のお話をいたします。 たむらでは、四月上旬まで飾ります。	
	川釣り解禁 (初旬)	新湯川に、ヤマメやイワナ、ハヤなどが生息しています。 日釣り券のご購入と釣り具のご用意をお願いいたします。	
四月	春季温泉神社祭典 (八日)	田おこしの時季。神社を清掃し、五色の幟をたてて祈禱を行い、 春の始まりを祝います。甘茶をお出しいたします。	
	お花見 (二十日過ぎ頃)	たむらの森の桜が咲き出す頃。梅も桃も一緒に咲く、四万の 花盛りの季節です。あちらこちらでお花見をお楽しみください。	
五月	端午の節句 (五日)	四月中旬からたむら代々の五月人形を上段の間に飾ります。 時代を映す装束の金太郎や、故事にのっとった有職人形が 多く残っています。蕨の湯で菖蒲湯もお楽しみいただけます。	

<p>六月</p> 	<p>入梅 (十一日頃)</p> <p>夏至 (二十一日頃)</p>	<p>梅雨の鬱陶しい時期ですが、雨に煙る山々を眺めながらのんびり〈たむらの湯浴み〉に良い時季です。</p> <p>一年の折り返しは、田村坂を上るスパトレイルの応援や同窓会のお客さままで賑わいます。</p>	
<p>七月</p> 	<p>さくらプール開き (一日)</p>	<p>たむらには、高温源泉の熱交換のため、源泉近くの川沿いに昔からプールがありました。今は、たむらのこころを表す山桜が水底に描かれた温水プール。八月まで営業します。ご家族でお楽しみください。</p> <p>毎週火曜日が清掃日、金曜日が水面のゴミ収集日です。</p>	
<p>七月</p> 	<p>七夕祭り (七日)</p>	<p>ロビーに笹竹を飾り、願い事を書く短冊をご用意します。皆さまの健康と、幸せを願ってお焚き上げします。</p>	
<p>七月</p> 	<p>土用の丑の日 (二十日頃)</p>	<p>丑湯に浸かって、「う」の付くものをいただく日。</p>	
<p>八月</p> 	<p>たむらの森の夏休み</p>	<p>時々、いろいろなイベントをいたします。お子さまにバルーンアートをプレゼントします。将棋や囲碁の貸し出しもあります。(有料)</p> <p>湯めぐりの合間のスタンプラリーやクイズラリー、四万の夜道を歩くちょうちんウォーク、源泉たまご作りや足湯、温泉パックなど、たむらの一日をお楽しみください。</p>	
<p>九月</p> 	<p>十五夜 〈中秋の名月〉 (旧暦八月十五日)</p>	<p>芋名月とも言われ、お月見団子とススキを飾ります。手作りのお月見団子をお出しします。冴えた夜空に浮かぶ十五夜と十三夜、合わせて二夜の月をお楽しみください。</p>	
<p>十月</p> 	<p>秋季温泉神社大祭 (七日・八日)</p>	<p>地元によくから伝わる湯薬師神社の奉納祭。お稚児さんを先頭に、子どもたちの賑やかなお囃子に乗って山車が田村坂を上ります。玄関先で地元若連の八木節が披露されます。ふるまい酒もご用意しています。</p>	
<p>十月</p> 	<p>十三夜 〈栗名月〉 (旧暦九月十三日)</p>	<p>秋の収穫物をお供えして、出が遅くなった月を愛でます。手作りのお月見団子をお出しします。</p> <p>十五夜を眺めたら、片見月は野暮なこと。十三夜のこの日も、四万の月見にお出かけください。</p>	
<p>十月</p> 	<p>紅葉狩り (中旬から)</p>	<p>檜やクヌギなど山一面に広がる色とりどりの紅葉と、客室から眺める満点星や楓の色づきをお楽しみください。</p>	
<p>十一月</p> 	<p>恵比寿講 (二十日)</p>	<p>宵恵比寿とも言われ、「鯛の尾頭付き」の料理を準備して恵比寿様をお迎えし、全国行脚の労をねぎらいます。</p>	
<p>十二月</p> 	<p>冬至 (二十二日頃)</p>	<p>夜が一番長い冬至の日。蕘の湯に柚子を浮かべます。この日に「ん」のつくものを食べると風邪をひかないと言われます。</p>	
<p>十二月</p>	<p>クリスマス (二十四日)</p>	<p>館内それぞれの場所でクリスマス気分をお楽しみください。オーナメント作りに参加していただき、館内のツリー飾りにさせていただきます。</p>	
<p>十二月</p>	<p>お正月飾り (二十八日頃から)</p>	<p>縄をなって新しく神棚のしめ飾りをつくります。玄関先に門松を立て、鏡餅を準備、暖簾を新調します。山鳥や鯛、勝ち栗、ほおずきなど、たむら独自の飾りが揃うと、新年を迎える準備が整います。静かな静かな年越しを、温泉に入りお過ごしください。地粉で打った、年越しそばもお召し上がりください。</p>	

お問い合わせ：四万たむらフロント（帳場）内線 95番
(9:00~20:00)

